

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2023年11月19日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 6 0 7 「 御 霊 は 天 よ り 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 4 2 1 「 父 な る 御 神 に 」	一 同
教会学校	絵 本 「 ノ ア の 箱 舟 」	牧 師
讃 美	聖 歌 4 2 3 「 罪 思 い 出 さ す る 」	一 同
聖書朗読	創世記6:5-8	
奨 励	創世記の福音(第7回)	牧 師
主 題	「箱舟と虹の約束」	
讃 美	聖 歌 3 9 7 「 遠 き 国 や 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 3 7 8 「 栄 あ れ や 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創世記第 10,11 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

11/19(日)聖日礼拝
/20(月)
/21(火)
/22(水)10-12:OBSｸﾗｽ
/23(木)勤労感謝の日
/24(金)
/25(土)13-16子供オｰﾌﾞﾝﾊｳｽ



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「ギルガメシュ叙事詩」

古代近東世界には大洪水を物語る別の文書があります。それはバビロニアの「ギルガメシュ叙事詩」として知られる紀元前2千年紀のものであり、その類似性は際立っています。ウトナピシュテムと呼ばれる一人の生存者が選ばれ、彼は船を作って、家族をそれに乗せたのです。大洪水はすべてのものを呑み尽くしました。水が引いたのを確かめるために鳥が放たれ、また家族が船から出ると犠牲が捧げられました。

けれども、相異点もはっきりしています。この叙事詩の大洪水は、神々の言い争いの副産物であり、また安眠を妨げる人間達の喧噪に神々が苛立ちを示した結果でした。また、本当は誰も生き残るはずではなかったのに、エアという神がウトナピシュテムを選んで神々の計画を狂わせました。その後、女神イシュタルはラピスラズリのネックレスを空に置いて深い青色にし、大洪水を忘れまいとしました。またウトナピシュテムとその妻は、最後に不死の身とされました。彼はこの物語をギルガメシュに語り、なぜ自分が神々の会議に加わったのかを説明したのです。

旧約聖書の物語はこのギルガメシュ叙事詩の多神教を一神教に変えただけのものではありません。創世記6-9章とは対照的に、ギルガメシュ叙事詩は一人称で語られ、生き残ったウトナピシュテムが悲嘆を示すのです。また叙事詩では不死と悪は神々の関心事ではありませんが、旧約聖書では人間の暴虐な状況が神を嘆きと行動に向かわせたのです。ノアは残りの者であり、新しい人間の代表です。彼は神が期待する人間であり、「神の前に正しく…神と共に歩んだ」人(創世6:9、7:1)でした。

(参考：矢島文夫訳「ギルガメシュ叙事詩」第十一の書板、ちくま学芸文庫、1998)